

内部監査に係る報告書

年 月 日

ISMAP 運営委員会 宛

申請者住所：

申請者名：

代表者役職名：

代表者名：

言明の対象となるクラウドサービスに関し、以下のとおり内部監査を実施しました。また、必要な情報セキュリティに係る内部統制を整備及び運用しています。

なお、ISMAP 運営委員会の要請があれば、内部監査の詳細について必要な資料を提出します。

記

1. 対象クラウドサービス名称
2. 内部監査体制
3. 内部監査における重要事項
4. 内部監査の対象とした統制目標
別紙のとおり
5. 内部監査対象期間
6. 内部監査実施期間
7. 内部監査の実施方法
8. 内部監査の実施内容
別紙のとおり
9. 内部監査の結果の概要

以上

(様式 2-3 記載例)

内部監査に係る報告書

202X 年 X 月 XX 日

ISMAP 運営委員会 宛

申請者住所：〒113-65XX

東京都文京区本駒込

X 丁目 XX 番 XX 号

申請者名：XX クラウドサービス

株式会社

代表者役職名：代表取締役社長

代表者名：〇〇 〇〇

言明の対象となるクラウドサービスに関し、以下のとおり内部監査を実施しました。また、必要な情報セキュリティに係る内部統制を整備及び運用しています。

なお、ISMAP 運営委員会の要請があれば、内部監査の詳細について必要な資料を提出します。

記

1. 対象クラウドサービス名称

XX サービス（言明対象サービスを記載）

2. 内部監査体制

【責任者について】

責任者の所属部署/役職：〇〇部部长

責任者の監査に関する資格、経験等

<資格>

- ・公認情報システム監査人（CISA）を 20XX 年〇月取得

<経験>

- ・20XX 年〇月 〇〇社における内部監査において、サブリーダーを務める
- ・20XX 年〇月 〇〇社における内部監査において、品質管理者を務める

【責任者以外の概要】

（責任者を除く、内部監査担当者の所属及び人数を記載）

3. 内部監査における重要事項

内部監査人が、内部監査に際し重要な事項と判断した統制の重大な変更及び監査領域・項目は以下のとおりである。

【統制の重大な変更】

・管理策番号 x. x. x について、前年度の外部監査にて発見事項が識別されたため、統制内容やコントロールオーナーの大幅な変更が生じた。

【監査領域・項目】

- ・前年度の外部監査にて発見事項が識別された管理策番号 y. y. y
- ・前年度の内部監査にて発見事項が識別された管理策番号 z. z. z
- ・全社的なサイバーセキュリティの施策において重視されている、ネットワーク関連の領域

(内部監査の計画策定や実施段階で内部監査人が重要な事項と判断して監査手続を実施した重大な統制の変更や、領域・項目を記載する。)

4. 内部監査の対象とした統制目標

別紙のとおり

5. 内部監査対象期間

2021年4月1日～2021年12月31日

(内部監査の対象期間を記載)

6. 内部監査実施期間

2022年1月1日～2022年3月31日

(内部監査の実施期間を記載。実施期間末日が内部監査結果報告日と一致すること。)

7. 内部監査の実施方法

以下の手続により内部監査を実施した。

- ・コントロールセルフアセスメントの結果の閲覧と質問、内部監査人による一部のサンプルに対する再テストの実施
- ・内部監査人自らのウォークスルーの実施による整備状況評価と独自のサンプルテストによる運用状況評価の実施
- ・他のマネジメントシステムにおける内部監査の実施と、その結果を用いた ISMAP 詳細管理策への適合性の検証と内部監査人による一部の管理策に対する独自のサンプルテストの実施の組み合わせ

(どのような監査手続を用いたのかを記載する。上記は例示である。)

8. 内部監査の実施内容

別紙のとおり

9. 内部監査の結果の概要

内部監査の結果、XX 件の発見事項が識別された。当監査対象期間中に改善済ものは XX 件、未改善のものは XX 件である。なお、詳細は別紙のとおりである。

以上